

第7回 ニッケピュアハート エッセー大賞

<中学の部 優秀賞>

「宇宙へのロケット」

小田麻未

私は未完成のロケットだ。

まだ発射台にも着けず、エネルギーも足りない。しかし毎日毎日、少しずつ少しずついろんな事を学びその知識と経験でできた翼を組み立て、私の中の心というエネルギーを貯めていく。

いつか宇宙に行くために。

宇宙といって私が思いつくのは「車椅子の物理学者」として世界的に高名である理論物理学者のスティーヴン・ホーキング氏だ。彼はアインシュタインに次ぐ最もすぐれた宇宙物理学者で、私が尊敬する偉大な人物だ。

彼が書いた本を読んで、私は宇宙に興味を持った。宇宙とはこんなにも神秘で、地球に存在する物に例えようのない程壮大であると思い知った。本のカラー写真で見た銀河の渦巻にも引き込まれていった。

私の心はいつも本と共に宇宙へ飛んでいく。

本を読んで生まれる好奇心はより一層宇宙への意識を高めてくれる。大好きな宇宙の事だから沢山の事を知りたい。私は少しでも自分が宇宙に近づくために宇宙に関する本を沢山読んでいる。本によって生まれる好奇心を私は大人になっても大切にしていきたい。

それから、宇宙に行くという事は世界規模の事だ。世界中から仲間が集まってくる。だから他国の人と沢山コミュニケーションをとり、自分の知らない様々な文化に触れたい。宇宙に行くためだけではなく、今や国際的に生きて行く上で必ず必要なのが英語力である。

私にとって英語は少し難しいが、学校で勉強した事を応用して日常会話を英文にしてみたり、物語を和訳してみたりと地道に取り組んでいる。

こうやって人生で少しずつ得た沢山の教養と好奇心というエネルギーをエンジンに詰め込みいつか本物のロケットの翼で、本物のエンジンで宇宙へ飛んで行きたい。この目で宇宙を見たい。みんなに宇宙を知ってほしい。

私の夢は宇宙飛行士だ。